

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の活用にあたっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業を始めとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付けや売払い、共用林野の設定等を行っています。令和4年度末現在で約7万2千haの貸付け等を行っており、農地や採草放牧地が約1割、道路、電気・通信、ダム等の公用、公共用又は公益事業用の施設用地が約5割を占めています。また、東日本大震災からの復興のため、汚染土壌の仮置場等として、国有林野の無償貸付け等を引き続き行っています。

国有林野の活用



https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/gaiyo/kasituke/kokuyuurinyanokatsuyou.html

表－19 国有林野の用途別貸付け等の状況 (単位：ha)

区 分	(参考) 令和2年度	(参考) 令和3年度	令和4年度
農耕・採草放牧地	10,013(14)	10,022(14)	9,983(14)
道路敷	14,271(20)	14,525(20)	14,584(20)
電気・通信事業用地	17,296(24)	17,406(24)	17,650(25)
ダム・堰堤敷	3,393(5)	3,441(5)	3,423(5)
森林空間総合利用事業用地	9,062(13)	9,089(13)	8,979(12)
その他	17,349(24)	17,286(24)	17,355(24)
合 計	71,382(100)	71,768(100)	71,974(100)

- 注：1 面積は、各年度末現在の数値である。
 2 貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。
 3 () 書は、合計に占める用途別の比率(%)である。
 4 計の不一致は、四捨五入による。

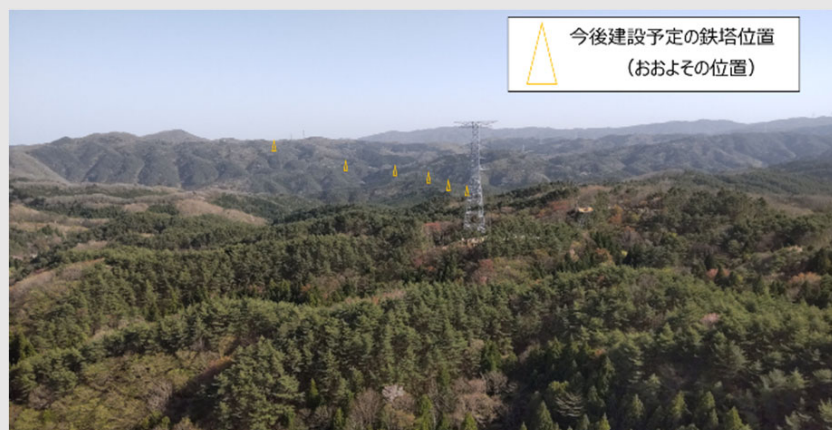
表－２０ 国有林野の用途別売払い状況

(単位：ha)

区分	(参考) 令和２年度	(参考) 令和３年度	令和４年度
所管換・所属替	144 (58)	23 (51)	63 (85)
公用・公共事業用	80 (33)	19 (42)	9 (12)
産業振興用	22 (9)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	3 (7)	2 (3)
計	246 (100)	45 (100)	74 (100)

注：１ 売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。
 ２ () 書は、計に占める用途別の比率(%)である。
 ３ 計の不一致は、四捨五入による。

事例 21 広域的な送電網の整備に向けた国有林野の貸付け (関東森林管理局 福島森林管理署、磐城森林管理署)



- ・福島県双葉郡（ふたばぐん）
 大熊町（おおくままち）
 野上（のがみ）国有林外
 （令和５年４月）

福島森林管理署及び磐城森林管理署は、一般送配電事業者が東北地域と関東地域を新たに接続する送電線を整備するための敷地等として、令和４年度に国有林野の貸付けを行いました。

本事業は、東日本大震災を背景に強靱かつ持続可能な電力供給体制の確立を図るために電力会社等が電気事業法に基づき策定した「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」によるもので、大規模災害時における地域間での電力の融通による安定供給や電力取引の活性化、再生可能エネルギーの導入拡大を目的としているものです。

国土保全、生物多様性保全等の公益的機能の発揮と、地域の合意形成に十分留意しながら、当該国有林野の貸付けを行い、多くの国民が裨益することになる重要な公益事業に貢献しています。

国土保全、生物多様性保全等の公益的機能の発揮と、地域の合意形成に十分留意しながら、当該国有林野の貸付けを行い、多くの国民が裨益することになる重要な公益事業に貢献しています。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林 576 か所を「レクリエーションの森」として国民の利用に供しており、令和 4 年度は、延べ約 1 億人の利用がありました。

また、平成 29 年度に、全国の「レクリエーションの森」のうち、特に景観等の優れた 93 か所を「日本美しいの森 ^{にっぽんうつく} お薦め国有林」として選定し、多言語による情報発信や重点的な環境整備等に取り組んでいます。

さらに、「レクリエーションの森」と国立公園が重複している箇所のうち、知床、日光、屋久島等を重点地域等とし、環境省との連携を強化して、保護と利用の両立を図りながら利用環境の整備を推進するなど、更なる利便性や安全性の向上に取り組んでいます。

引き続き、利用状況等を踏まえつつ、快適な利用環境が確保できるよう、地域と連携した管理体制の充実や歩道の整備等を進めていきます。

表－２１ レクリエーションの森の現況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千 ha)	利用者数 (百万人)	代表的なレクリエーションの森(都道府県)
自然休養林	79	94	19	たかおさん 高尾山(東京)、あかさわ 赤沢(長野)、つるぎさん 剣山(徳島)、やくしま 屋久島(鹿児島)
自然観察教育林	87	22	11	しらかみさんち 白神山地・暗門、あんもん 滝(青森)、たき 金華山(岐阜)、きんかざん 赤西(兵庫)
風景林	145	62	43	えりも(北海道)、あしのこ 芦ノ湖(神奈川)、あらしやま 嵐山(京都)
森林スポーツ林	26	3	3	つくばさん 筑波山(茨城)、たきごし 滝越(長野)、おうぎのせん 扇ノ仙(鳥取)
野外スポーツ地域	164	49	16	てんぐやま 天狗山(北海道)、うらばんだい 裏磐梯デコ平(福島)、だいら 向坂山(宮崎)
風致探勝林	75	13	7	ぬくみだいら 温身平(山形)、こまがたけ 駒ヶ岳(長野)、にじのまつばら 虹ノ松原(佐賀)
合計	576	243	99	

注：1 箇所数及び面積は令和 5 年 4 月 1 日現在の数値であり、利用者数は令和 4 年度の参考値である。
2 計の不一致は、四捨五入による。

事例 22 地域と連携した「日本美しい森 お薦め国有林」の利用環境の整備

(北海道森林管理局 檜山森林管理署)



- ・北海道爾志郡(にしぐん)乙部町(おとべちょう) 富岡(とみおか)国有林
- ・(左)連理(れんり)の木「縁桂(えんかつら)」(令和4年9月)
- ・(右)縁桂森林(えんかつらもりもり)フェスティバルの様子(令和4年9月)

檜山森林管理署管内にある「日本美しい森 お薦め国有林」の「縁桂風景林」は、ブナ、イタヤカエデを主とした天然林とトドマツ、カラマツ等の人工林からなり、山麓には「森の巨人たち百選」に選定されている「縁桂」があります。この「縁桂」は隣接する2本の桂の木が枝で連結している「連理の木」として知られ、縁結びの木として多くの人々が訪れる名所となっています。

檜山森林管理署では、乙部町を主体とした縁桂レクリエーションの森協議会と連携して、歩道の整備及び管理を実施しており、令和4年度には、老朽化が目立っていた木橋を再整備しました。

また、令和4年9月に開催された「縁桂森林フェスティバル」では、あいにくの雨にも関わらず、多くの来場者が訪れました。



レクリエーションの森

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html